

# とぎめき

## 新しい春が来た

- 「学ぼうさい」を開催しました
- 市青少年市民会議の表彰おめでとうございます
- 土岐地区の各地で「どんど」が行われました
- 土岐小周辺の松洞川がきれいに清掃されました
- 瑞浪北中で「イルミネーションの森」を実施
- 車用の防犯ステッカーを無料配布します

【コラム探訪と再発見】 櫻宮神社と回り舞台



# 「学ぼうさい」を開催しました

12月27日（土）、あんしん環境部会主催の防災学習イベント「学ぼうさい」が総合文化センターで開催され、約50名の参加者で賑わいました。

非常食の試食勉強会、自動体外式除細動器（AED）体験講習、119番通報体験、消火器の模擬消火体験など、多彩なプログラムを通して参加者は防災について真剣に学びました。その体験姿勢からは、地域の防災力を高めようとする前向きな意思が感じられました。

今回の体験学習は、いつ起こるかわからない災害に備えるうえで、参加者にとって大変有意義な機会となりました。



家族で非常食を試食して意見交流



救急車を呼ぶ119番通報体験



消火器の模擬消火体験



自動体外式除細動器（AED）体験

# 市青少年市民会議の表彰おめでとうございます

2月14日（土）、総合文化センターで開催された市青少年市民会議において、土岐地区から次の方達が表彰されました。

## ■ 個人表彰

**大竹 颯祐（おおたけ そうすけ）さん**（瑞浪北中3年／益見町）

11月1日～3日、静岡県伊豆市伊豆志太スタジアムで行われた『第23回全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆』にて、岐阜県代表チーム『オール岐阜』の内野手（セカンド）としてスタメン出場して準優勝に大きく貢献し、その功績が高く評価され今回の表彰となりました。

また、同じ瑞浪北中3年の**三浦 悠杜（みうら はると）さん**（日吉町）も、同チームのサードとして出場し同様に表彰されました。

## ■ 団体表彰

**土岐地区更生保護女性の会**（代表：新井 公子さん）

児童の下校時の声かけパトロールや、6年生へ手作りの卒業記念しおりを贈る活動を長年続けてこられたことが評価されました。

**櫻堂薬師保存会**（代表：棚町 登さん）

地域の文化財「櫻堂薬師」について、小学校のふるさと学習を長年支援されてきた取り組みが認められました。

受賞された皆さま、誠におめでとうございます。



（左）大竹颯祐さん（益見町）（右）三浦悠杜さん（日吉町）



土岐地区更生保護女性の会の皆さん



櫻堂薬師保存会の活動のようすと代表の棚町登さん

## 土岐地区の各地で「どんど」が行われました

全国的に「どんど（別称：左義長）」は、小正月である1月15日を中心に行われる行事です。

どんどでは、門松やしめ縄などのお正月飾り、古いお札やお守り、書き初めなどを持ち寄って燃やします。正月飾りでお迎えした年神様（歳神様）を、炎とともにお見送りするという意味が込められています。燃やした火で焼いたお餅や団子を食べると、その一年を無病息災で過ごせると言われています。また、書き初めや勉強のノートを燃やし、炎が高く上がるほど学業が上達すると信じられています。さらに、家内安全・火災除けの願いを込めて、灰を持ち帰り家の周囲に撒くと、病気や災いを避ける効果があるとされています。しかし近年では、門松作りの風習が薄れ材料が手に入りにくくなったことや、どんど行事の意味や作り方の伝承が難しくなっていることから行事を取りやめる地域も増えています。日本の精神文化が少しずつ失われていくのは寂しいものです。



一日市場 1/11(日) 日焼田橋下河川敷



鶴城 1/12(月) 諏訪神社境内



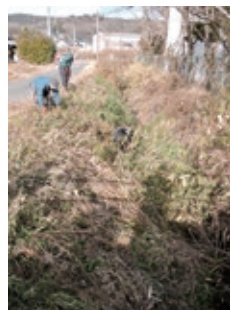
柴町 1/12(月) 消防署横河川敷



清水 1/18(日) 下街道南の農道

## 土岐小周辺の松洞川がきれいに清掃されました

1月29日(木)、土岐小学校コミュニティ・スクール(CS)の役員と地域有志の皆さん、あわせて10名を超える方々が、土岐小学校横を流れる松洞川の清掃活動を行いました。小雪が舞う寒さの厳しい一日でしたが、「子どもたちのために、草木が芽吹く前にきれいにしておこう」との思いで、皆さんが力を合わせて作業してくださいました。そのおかげで、松洞川周辺は見違えるほど美しく生まれ変わりました。地域の温かい支えに、心より感謝いたします。



水面が全く見えなかった松洞川がすっきりと美しくなりました

## 瑞浪北中で「イルミネーションの森」を実施

12月22日(月)から25日(木)までの4日間、夕方4時から8時の時間帯に瑞浪北中学校の中庭に「イルミネーションの森」が登場しました。12月8日(月)に行われた中学3年生の総合学習で発表されたアイデアを、CS地域役員や学校職員、土岐地区まちづくり役員、PTA役員、そして約30名の有志生徒が力を合わせて急遽実現させたものです。制作に携わった生徒たち・各方面の大人達、そして鑑賞に訪れた地域の方々の目は、感動と喜びの光で輝いていました。知っていれば見に行きたかったのになど多くの反響が集まった中学生発案のパフォーマンスでした。



イルミネーションで美しく飾られた北中体育館前の中庭広場

さくらのみや じんじや  
**櫻宮神社と回り舞台**

櫻堂薬師本堂の南側にあった江戸末期建築の回り舞台は、「櫻堂薬師に付属する施設」と思われていました。しかし、櫻堂薬師の本堂からは舞台の演技が見えない造りになっていることに疑問を持った方もいたと思います。実はこの舞台、櫻堂薬師の南隣にある櫻宮神社に付属する農村舞台として建てられたものでした。桜堂の櫻宮神社には、天照大神の弟である素戔嗚命（すさのおのみこと）と、その母である伊邪那美命（いざなみのみこと）が祀られています。創建年代は不明ですが、享保 3（1714）年の再建を示す棟札が残っており、それ以前から存在していたことがわかります。

江戸時代の櫻堂村には守口地区に村の氏神 - 熊野大権現が、法明寺（櫻堂薬師）には寺の守護神 - 山王権現が祀られていました。明治 4 年に両社が現在地へ移され、さらに明治 40（1907）年に合祀されて櫻宮神社となりました。

櫻宮神社の本殿は大正時代に奉建された流造・銅板葺（ぶ）きの立派な建物です。氏子の篤志家による高額の奉納により、総檜造りで太い柱目の柱を用いた豪華な本殿が建てられ、地域の誇りとなりました。毎年 10 月の例祭では、子ども御神輿が組中を練り歩き、各家庭に「⑨オマントウ」を捧げます。大人たちは一重を持ち寄り、舞台上で直会を行うのが恒例でした。

境内の回り舞台では、かつて地元の芝居や旅芸人による歌舞伎が上演され、大変な賑わいだったと伝わっています。間口六間・奥行四間、壁面には波模様が描かれた立派な建物で、参拝者や旅芸人からは「田舎にはできすぎた舞台だ」と称賛されたそうです。例祭の日には、一文銭菓子屋、のぞき小屋、おもちゃ屋など多くの出店が並び、境内は大勢の参拝者であふれました。神事後は、根竹・中平・羽根の三組が年替わりで当番を務め、一重や割子弁当を持ち寄ってご馳走を振る舞いました。

■ 回り舞台の解体と跡地の整備

長い歴史を持つ回り舞台ですが、経年劣化や異常気象により損傷が進み使用できない状態が続いていました。修復か解体かを区民で検討した結果、「修復しても区民生活上の必要性が低い」と判断され、令和 7 年の晩秋に解体されました。跡地は櫻宮神社と櫻堂薬師が共用する境内として整備され、明るく開放的な空間に生まれ変わりました。今後は地域の新たな行事や交流、公園としての活用が期待されています。

（参考文献）岐阜県神社庁瑞浪市支部平成 10 年発行 「瑞浪市の神社 -72 社参拝案内 -」

⑨ オマントウ（オマント・お馬頭・お馬の塔）馬の背に神霊の依り代となる飾りを載せ、飾り馬具をつけて奉納する「馬の塔」という祭礼が、主に愛知県を中心に伝わっています。現在では、その飾り自体を「オマントウ」と呼ぶようになっているようです（関連インターネットサイトより）。



櫻堂薬師本堂南の櫻宮神社



解体前の櫻宮神社回り舞台



回り舞台解体後の寺社境内



オマントウ（写真：益見白山神社）

**車用の防犯ステッカーを無料配布します**

土岐地区まちづくり推進協議会では、子ども見守り活動の一環として、車に貼れるステッカーを無料配布します。ステッカーは車の後部窓ガラスに内側から貼ることができ、きれいに剥がせます。地域の防犯活動に、ぜひご協力ください。

**サイズ：A5（A4の半分）**

**料金：無料**

**配布対象：土岐地区に在住または在勤の方**

**配布場所：市役所西分行舎（旧保健センター）1階まちづくり事務室**

事務室までお越しいただくか、下記の電話番号へお問い合わせいただければ、郵送でも対応します。



車の後部窓ガラスに内側から貼ることができます

発行元 土岐地区まちづくり推進協議会

連絡先 ☎0572-56-0136（直通） 加藤

編集 情報発信部

発行日 令和8年4月